

中学・高校生向け地域福祉ワークショップ
ボードゲームから考える！これからのまちづくり
開催結果

令和5年8月

中央区・中央区社会福祉協議会

【目次】

実施概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
開催結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
アンケート結果・資料	・・・・・・・・・・・・・・・・	4

1. 実施概要 - 地域福祉ワークショップの目的 -

1. 中央区のことを**知る**
2. 理想とするまちの姿を**イメージする**
3. 自分ができていることを**考える**

地域(中央区)を身近に感じるきっかけに！

2. 主催・共催

主催：中央区、共催：中央区社会福祉協議会

3. 開催日

令和5年8月23日（水） 14:00～16:00

4. 参加者

2名

5. 当日の流れ

01 ミニ講座	02 ワーク コミュニティ コーピングを体験	03 振り返り 感想を共有	04 終了
15分	70分	30分	16時終了

ポイント💡「**コミュニティコーピングって??**」

コミュニティコーピングは、「地域で孤立している人（1人で生活している、周囲に気軽に話ができる人がいない人等）」に対し、身近にいる「力になってくれる人」を「つなぐ」ことで、社会的孤立状態の解消を体験できるゲームです。

コミュニティコーピングホームページ <https://comcop.jp/>



6. 開催結果～振り返りで出た意見～

質問①「ゲームの感想を教えてください」

- ◆ みんなで協力してゲームをすることができた。チームプレイに苦手意識を持っているが、今日はチームプレイができたと思う。
- ◆ 地域には色々な住民がいて、様々な悩みを抱えている。自分のつながりを活かし、解決することができたのでよかった。

質問②「印象に残った登場人物を教えてください」

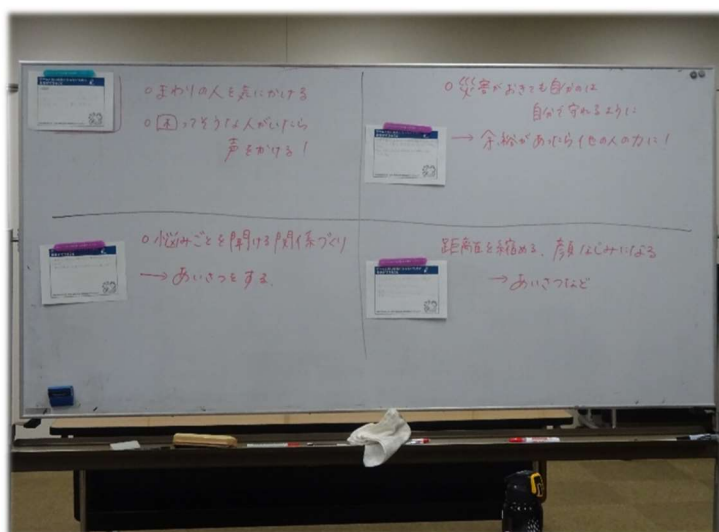
- ◆ 地域福祉コーディネーター。何でも解決できてすごいと思った。
- ◆ 住民カード。悩みを解決すると地域に貢献可能な、つながりカードになるものもあり、力になってくれる人は近くにいるのだとわかった。
→同じカードが印象に残った。悩みを解決することで、力になってくれる。優しい人なんだろうと思った。

質問③「どうすれば地域は崩壊しなかったかと思いますか？」

- ◆ 処方するためのつながりがもっと必要だった。土地を広くすれば、課題を抱えた人であふれることも無いのではないか。
- ◆ 震災などにより住民カード（課題を抱えた人）が2倍になった。

質問④「ゲームと同じ結果にならないために自分ができること！」

- ◆ 交流会やイベントで、地域の人と距離を縮める。同じマンションの人と話をしてみる。困っている人を見つけたら、ゲームのようにコーピングして家族のつながりに頼ってみる。
- ◆ 災害が起きてもあわてず、自分の身を守るために保存食を持ち、まずは一人一人が自分のことを守る。自分のことができるようになったら、他の人も助けて、助けあいをする。



原田さん 50代男性 C地区
お金Lv.1

 元会計士

先日父親が特殊詐欺の被害に遭ってしまった。今後被害にあわないよう誰が父親の面倒をみるのかで悩んでいる。

「私も何か協力できますか？」
※悩みが解決したら解決能力お金Lv.1
協力できます

お金 Lv.1 住まい生活 Lv.2 J33

悩み事を抱えている人も
誰かの力になれるかも…！！

7. アンケート結果・写真

問1「今回のワークショップを、どのように知りましたか」

- 学校で配布されたチラシ。
- 家族から聞いた。
- 塾で配布されたチラシ。

問2「今回のワークショップに参加した理由を教えてください」

- 前々から地域の事について学ぶきっかけを探していて、ちょうどチラシを見つけたので参加した。
- 最近中央区へと越してきたばかりで、あまり中央区の事について知らないなので、どんな地域か知りたくて参加した。「まちづくり」にも目が惹かれた。

問3「地域福祉ワークショップに参加していかがでしたか」

- とてもよかった 2名

問4「本日のワークショップで一番印象に残ったことは何ですか？」

- 一人一人、お金、住まい、健康、人間関係などの悩みを抱えていること。
- 最初は難しいことを考えるのかと思ったが、ゲームで楽しく理解することができた。

問5「感想や気になったことなど、ご自由にお書きください」

- 楽しくて同時に勉強にもなってとってもいいワークショップでした。
- 地域の仕組み、色んな人が色んな相談事を持っていると知ったので、話を聞いてあげたいです。



ご参加いただき、ありがとうございました！！